

# 県政この一年

多くの方が参加や観戦・運営補助に携わり、大成功を収めた「福井しあわせ元気」国体・障スポをはじめ、今年、県民の皆さんが一丸となって実力を発揮し、大きな成果をあげた年でした。この一年の県政の動きを、「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンに沿って紹介します。



## 感動をありがとう! 「福井しあわせ元気」国体・障スポ

### 国体で完全優勝! 障スポは過去最多のメダル獲得

9月29日～10月9日に行われた「福井しあわせ元気国体」。福井県勢は、昭和43年の福井国体以来の天皇杯(男女総合優勝)と、初の皇后杯(女子総合優勝)を獲得し、完全優勝を成し遂げました。引き続き、10月13日～15日に行われた「福井しあわせ元気大会」(障スポ/全国障害者スポーツ大会)では、過去最多となる130個のメダルを獲得。選手全員がそれぞれのベストを尽くしました。

### 国体と障スポの融合を実現

国体と障スポの「融合」を掲げた今大会。史上初めて国体会期中に障スポ競技である車いすバスケットボールと車いすテニスを実施しました。国体の開・閉会式では、式典演技のダンスや炬火の点火をはじめ、多くの場面で障がいのある方が参加。障スポの各競技会場にも大勢の方が観戦に訪れ、選手たちを懸命に応援するなど、スポーツを通じて障がいのある方・ない方の交流が深まりました。

### 県民一丸となって大成功

開会式では、県民の皆さんが勝山左義長や小浜放生祭などの郷土芸能のほか、民謡、ヨサコイなどを披露。式典演技では、観客も一緒に「はびねずダンス」に参加し、選手たちにエールを送りました。各競技会場では、清掃や植栽、食のふるまいなどを通して、全国から訪れた選手団の皆さんをおもてなし。手話や要約筆記、選手団のサポートなど、ボランティアの活躍も光り、福井のしあわせ元気を全国の選手団の皆さんに感じてもらうことができました。



国体総合開会式の入場行進

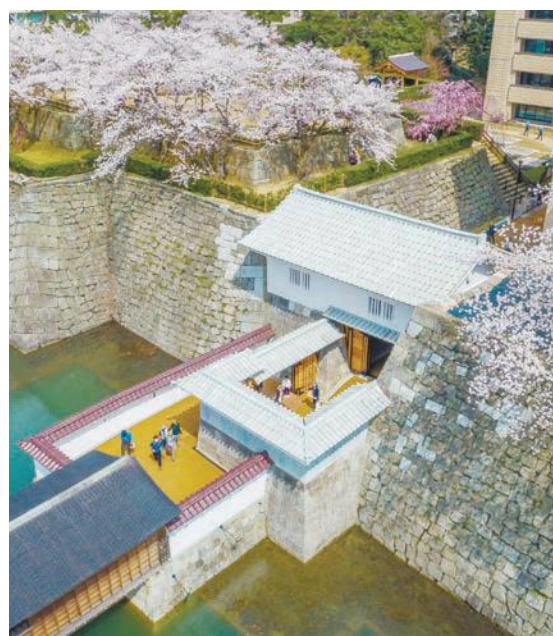


車いすバスケットボール

## 元気な産業

### 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

県内全域で「幕末明治福井150年博」を展開。元号が明治に改められてから150年となる今年、「幕末明治福井150年博」を県内全域で展開。由利公正や橋本左内など、幕末明治期に活躍した福井の先人の生き方や偉業を後世に伝えるため、3～11月にかけて企画展やイベントを切れ目なく開催しました。3月のオープニングセレモニーでは、復元整備が完了した福井城山里口御門を開門。9～11月に県立歴史博物館で開催したメインの特別展では、坂本龍馬や西郷隆盛が福井藩士・村田氏寿に宛てた書簡など、先人たちの当時の行動を確認できる貴重な史料を多数展示し、福井藩の果たした歴史的役割を紹介しました。



福井城山里口御門

### ドラマ・映画で福井を全国発信

映画「ジュラシック・ワールド 炎の王国」の公開に合わせ、全国の映画館で恐竜博物館のCMを上映しました。また、福井県を舞台にしたドラマ「チア☆ダン」と映画「えちてつ物語～わたし、故郷に帰ってきました～」が放送・上映されるなど、福井県の魅力を全国に発信しました。

### 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

#### 「いちほまれ」全国デビュー

福井生まれの新ブランド米「いちほまれ」。今年は、昨年の5倍となる約3000トンを生産し、県内や首都圏に加え、県産米の流通が多い関西・中京に販路を拡大しました。福井県出身の歌手・五木ひろさんが出演するCMを制作・放送し、PRを強化。国体・障スポにおいても、開・閉会式や各競技会場でおにぎりを配布したり、選手の宿泊施設で提供するなど、全国から集まった選手や関係者の皆さんに「いちほまれ」をアピールしました。



いちほまれCM

#### 「越前がに」に国のお墨付き

9月、地域固有の気候風土や伝統製法などと結びつけた食産品の名称を、国が知的財産として保護する「地理的表示(GI)保護制度」に、「越前がに」が登録されました。カニの登録は全国初。越前がにを示す黄色いタグにはGIマークが追加され、ブランドにさらに磨きがかかりました。

### 革新と創造で伸びゆく福井の企業

#### AI・IoTの導入を支援

AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)を導入し、業務の効率化や新ビジネスの創出を進める企業を応援するため、「ふくいAIビジネス・オープンラボ」を11月にオープンしました。コミュニケーションロボットなどの最新機器を展示し、専門家による相談業務を行っているほか、プログラミング教室なども開催しています。

## 元気な県政

### 幸福実現、誇りを生み出す「ふるさと政策」

#### 幸福度日本一を発信

日本総合研究所の「全47都道府県幸福度ランキング2018年版」で、3回連続総合1位となった福井県。その魅力を全国に発信するため、お盆と国体・障スポにあわせ、県庁舎をスクリーンにプロジェクション・マッピングを実施しました。期間中の来場者は約4万4千人。恐竜や越前がにの映像のほか、県民の皆さんから募集した笑顔の写真を上映しました。



県庁舎を利用したプロジェクション・マッピング

#### ふるさと納税の裾野を広げる

ふるさとを応援したいという気持ちを、寄付を通じて形にできる「ふるさと納税制度」。制度本来の理念や趣旨を広めるため、新たに8月と11月を「ふるさと納税月間」とし、全国キャンペーンを実施したほか、11月には「ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム」を県内で開催しました。

#### 市町の拠点づくりが進む

地域の魅力を発信する施設や、住民の暮らしの拠点となる施設を、市町と協力して整備。スポーツクライミング施設(池田町)や薬草育苗センター(高浜町)など、多くの施設がオープンしました。

### 文化・芸術を身近に

#### 貴重な歴史資料の発見相次ぐ

明治時代の文豪・夏目漱石が福井市出身の国文学者・芳賀矢一に宛てた自筆はがきや、初代小浜藩主・酒井忠勝が江戸幕府3代将軍・徳川家光から拝領した駕籠など、貴重な歴史資料の発見が相次ぎました。県立図書館の保管する松平文庫の歴史書「昨夢紀事」については、幕末の福井藩重臣・中根雪江の自筆本の可能性が高いことが判明しました。

## 元気な社会

### 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

#### 福井県年縞博物館がオープン

三方五湖の一つ「水月湖」の底にあるしま模様の泥「年縞」。化石や文化財の年代を調べる「放射性炭素年代測定」の精度を飛躍的に向上させ、平成25年に「世界標準のものさし」として認められました。水月湖年縞の研究を進めるとともに、その価値を国内外に発信するため、9月、三方湖畔に「福井県年縞博物館」を開館。7万9千分、45mある実物の水月湖年縞をステンドグラスにして一直線に展示しました。



福井県年縞博物館

### 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

#### 子ども医療費の窓口無料化を実現

子ども医療費の助成の仕組みを4月に変更しました。病院の窓口で医療費を支払い、後で指定の口座に助成金を振り込む方法から、窓口での支払いを無料にする方法へと変更(小学生以上は一部負担あり)。市町と協力して、必要ときに子どもが安心して受診できる体制を整えました。

### 日本一の安全・安心

#### 2月豪雪の教訓を生かす

昭和56年の豪雪以来、37年ぶりとなった平成30年2月豪雪。鉄道やバスの運休、学校や企業の休校・休業、ガソリンや食品の不足など、県民生活に大きな影響が出ました。この豪雪の教訓を生かし、県では除雪対策を強化。バス路線や物流拠点へのアクセス道路などを「最重点除雪路線」に追加したほか、より効率的に道路除雪を行うため、除雪機械約480台にGPSを設置しました。

### 福井から人材育成

#### 小学生の英語教育を充実

文部科学省が行った昨年度の調査により、中学生・高校生と英語担当教員の英語力が全国1位となった福井県。今年4月から、全国に先駆けて県内すべての小学3、4年生で週1時間、5、6年生で週2時間の英語の授業を始めました。授業では、県独自の教材を活用。児童たちが英語を使って自分の考えや気持ちを伝え合う授業を推進しました。

### 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献

#### 共生社会の実現に向けて

「障がいのある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例」と「福井県手話言語条例」を4月に施行しました。小規模施設のバリアフリー化を進めるための補助制度を創設したほか、外見からは援助や配慮が必要だと分かりにくい方に「ヘルプカード」を配布するなど、障がいのある人・ない人が共に支え合う「共生社会」の実現に向けた施策を推進しました。

#### 嶺南でドクターヘリの運航を開始

医師や看護師が同乗して現場に急行し、傷病者や患者の治療にあたるドクターヘリ。9月に関西広域連合と協定を締結し、滋賀県全域と京都府南部を管轄する「京滋ドクターヘリ」の運航が嶺南地域で始まりました。早期治療や搬送時間の短縮につながり、医療体制が強化されました。



ドクターヘリ

## 元気な県土

### 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

#### つち音響く! 北陸新幹線

金沢・敦賀間について、県内すべての区間の土木工事の契約を3月に完了。九頭竜川橋りょう(福井市)の橋桁の架設や、新北陸トンネル(南越前町～敦賀市)の掘削など、県内全域で工事が進みました。



北陸新幹線の高架橋工事(福井市高柳)

#### えちぜん鉄道高架化工事完了

福井駅～福井口駅付近間の高架化工事が6月に完了しました。踏切の遮断による道路の渋滞が解消され、福井市中心部の交通がよりスムーズに。県産材をふんだんに使用した新しい福井駅舎もオープンしました。

#### 工事が進む! 中部縦貫自動車道

県内唯一の未開通区間である大野油坂道路の整備が進みました。4月に大野IC～大野東IC間の用地取得に着手したほか、大野東IC～油坂出入口間では、新長野トンネルと下山トンネルの掘削工事を11月に始めました。

### 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興

#### 2つの原子力発電所を対象とした総合防災訓練を実施

大飯、高浜の両原子力発電所を対象とした大規模な広域避難訓練を、8月に国、近隣府県と合同で実施しました。過去最多となる1市4町の住民約1,500名がマイカーやバス、大型ヘリなどを使って県内外へ避難。負傷者をヘリコプターで海上自衛隊の掃海母艦へ搬送し、海上で応急処置を行う訓練を初めて実施しました。